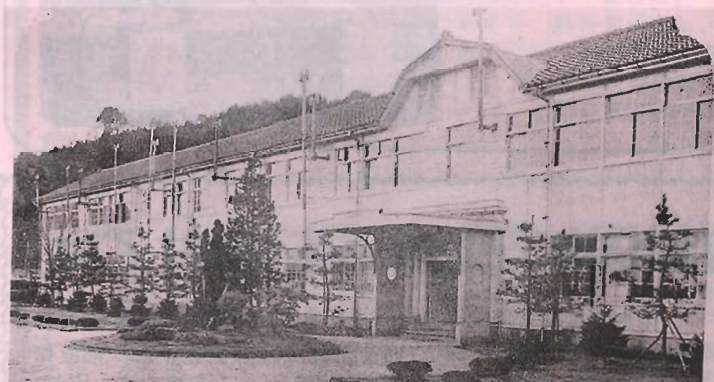


# 同窓会報

■発行/同窓会事務局 〒935-8535 氷見市幸町17-1 氷見高等学校内 Tel0766-74-0335 Fax0766-72-8136  
ホームページアドレス <http://www.tym.ed.jp/sc357/>



## ごあいさつ

学校長 関 寛



同窓生の皆様には、日頃から母校の教育活動にご理解・ご支援をいただいておりますことを感謝申し上げます。着任来、同窓会関西支部の総会や地元役員会・総会、そして関東支部総会、加えて80周年記念事業実行委員会等に出席させていただき、本校が多くの有為な人材を排出した、伝統ある学校であることを再認識しているところであります。

さて、ご案内の通り明年は、創校80周年の記念式典を執り行います。これにあわせ、記念事業としての麗峰会館の改修について、既に、皆様方に募金をご依頼しているところであり、ご寄付下さいました方々には厚く御礼申し上げます。この記念事業とは別に、今年度、耐震のためグラウンドに面した正面の中央棟のリフレッシュ工事を行っています。耐震の他に、トイレの改修や図書室・職員室の若干の模様替えがなされます。

いろいろな機会に同窓生の方とお会いして、皆さんの母校に対する、熱い思いを感じております。皆さんの期待に応えるべく、生徒・職員ともに頑張りたいと思っておりますので、今後とも変わらぬご理解・ご支援をお願い申し上げます。

## ごあいさつ

同窓会会長 稲積 佐一



謹啓 晩秋の候、会員の皆様方には日頃同窓会活動に御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今年には来るべく明年度の母校創立80周年記念事業の計画を立案致し、準備を進めて参りました。その一端と致しまして、会員名簿の発刊には立派に完成を見まして一同には大変喜んで頂いて居る処でございます。又これからの計画と致しましては、麗峰会館の利用勝手手の改装、整備、記念式典等のスケジュール等皆様方へのご案内の通りでございます。尚、募金活動に就きましては、年初より実行段階に入って居りますが、昨今の社会情勢、経済情勢、等、明日とも知れない不況の中での目標達成には大変厳しい状況であろうかと思われまふ。会員の皆様方には、現今の状況を十分に認識頂き、母校発展の為更に郷土発揚の為にも是非重ねてご協力をお願い申し上げます。

終りになりましたが、会員並びに関係の皆様方には御健康に留意され益々の御発展を御祈念申し上げます。

### 平成17年度 同窓会行事

- 平成17年4月10日(日) 同窓会関西支部 第21回総会  
 7月1日(金) 同窓会定例役員会  
 9月16日(金) 第38回同窓会総会
- 次第 1. 会長挨拶 2. 学校長挨拶 3. 職員紹介  
 4. 審議事項 (1) 平成16年度事業報告 (2) 平成16年度決算報告 (3) 平成16年度監査報告 (4) 平成17年度事業案審議 (5) 平成17年度予算案審議 (6) 創立80周年記念事業(案)について (7) その他
5. 学校の現状報告  
 6. 副会長挨拶
- 10月16日(日) 同窓会関東支部 第22回総会  
 12月20日(火) 同窓会報(第16号)発行  
 平成18年3月1日(水) 同窓会入会式



## = 富山県立氷見高等学校創立80周年記念事業にむけて =



来年平成18年に、母校氷見高等学校は創立80周年を迎えます。この年を記念し、創立60周年記念事業として施行された同窓会館「麗峰会館」の一部改修(食堂、トイレ、シャワー室、電機・空調設備など環境整備)を行います。

創立80周年記念を迎えるにあたって、各委員会役員の方々をはじめ、多くの方の協力のもと、計画が進められています。

#### ※記念事業計画内容

記念事業募金(期間:平成17年2月~平成18年1月)

麗峰会館環境整備(平成18年7月~8月)

創立80周年記念式典・記念講演・祝賀会・氷高祭(平成18年9月29日~30日)

記念事業募金は一口5千円(一口以上で全同窓会員より募る)にて平成18年1月末まで行っております。麗峰会館環境整備を行い、さらなる有効活用が行われるよう、会員各位のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 『青少年の育成に思う』

石坂 弘(高校五回卒)

近年、青少年の非行、犯罪が多発していることに、誰しも眉をひそめ、憂れていることでしょう。最近もある高校一年生の女子生徒が、実の母親を毒殺しようとした事件や、男子生徒が夜な夜な徒党を組んで街頭に練り出し金品のひったくりを繰り返していたこと等、誰しも記憶に新しいことでしょうか。犯行に及んだ少年達には、自分の行動に対する罪悪感や、相手の人が受けるであろう精神的、肉体的苦痛を思えばかる気持がひとかけらも無かったのであろうか。

さてこのような少年に育ってしまった原因はどこにあるのでしょうか。読売新聞に次のような記事が載っていました「法務総合研究所が今年初めに少年院に入っている少年の父母に、子供の非行の原因は何だろうと尋ねたところ、本人の問題、友人の問題と答えた父母は9割もあったのに、家庭の問題と答えた父母ははるかに少なかった。加えて少年院の教官への意識調査の結果、82%の教官が、指導に問題がある保護者が増えた」と答えているといえます。つまりこれらの親は、子供の育成に対する自己責任の自覚が無く学校、教師を含めた他人の責任という意識で子供の非行原因を見ているのでしょうか。幸に本校ではささいなトラブルは有るのですが、父兄や世間を震撼させる事件は起きていないのは何よりです。今日の社会風潮からして、将来も全く起り得ないとの保障は無いと思います。

それだけに「親の背中を見て子は育つ」との諺を今一度思い起こして、子供に対して優しさと厳しさを持って健全な育成に心がけていくことが大切だと思います。

さて、いよいよ明年は、本校創立80周年の記念すべき日を迎えることとなります。今、同窓会としてその日に向けて記念事業の成功を目指して懸命の努力をしているところです。同窓会の活動は、在校生にとっては親の背中にも似た手本として目に映るものと確信しています。記念事業の成功が、一行事として終るだけではなく後輩の教育、育成にも、将来的に大きな影響を与えていくものと信じます。

## 関東支部だより



第22回関東支部総会及び懇親会は10月16日(日)池袋メトロポリタンホテルで開催されました。ご来賓として、同窓会本部から萬谷健郎副会長、母校より関寛校長先生、松島洋先生、中浦悟先生、東京富山県人会連合会から安倍樹常務理事、東京水見会から本川保之会長、北日本新聞東京支社佐々木弘寿氏をお迎えし、総勢123名〔男性92名、女性31名〕が参加し、盛会裡に終了しました。

総会は柴右子(高13回生)の司会で始まり、森谷会長から、来賓及び多数の参加者への謝辞の後「創立80周年記念事業の内容として麗峰会館の改修・施設設備の充実、更に本部役員の方々の当事業成功を目指した奮闘の様子の紹介、また関東支部が目指している異年次間の情報交換が年々活発になっている事への感謝と母校の益々のご発展を祈念する」との開会の挨拶がありました。

引続き、古川芳雄(高22回生)より会計報告、濱元志郎〔高12回生〕より会計監査報告があり、全員の拍手で承認。森谷会長より、今回は役員改選期であったが、現行役員全員留任を報告し承認されました。

続いてご来賓の挨拶を頂き、校長先生からは運動部の活躍の様子、少子化の影響により学級数が減になる事、更に麗峰会館の空調設備等の更新計画の報告がありました。なお進学、就職状況、部活動成績一覧表を配布頂きました。萬谷同窓会本部副会長より創立80周年記念事業募金額の目標額達成に一層の協力をお願いしたい旨要請がありました。

総会終了後、今年初めての試みとして、村江近人(高12回生)他のスタッフによるテーブル毎の写真撮影があり、懇親会終了前に各人に配布され好評でした。

親睦会には船木昭二常任幹事〔高29回生〕の司会で始まり、種谷による歓迎の挨拶、上野公淳副会長(高12回生)から初参加の方々への紹介、岡峯政治氏(中18回生)による乾杯のご発声の後、それぞれのテーブルあるいは昔馴染みのいるテーブルへ移動して、料理をつつきながらの歓談となりました。

アトラクションは日本相撲協会の甚句師範国錦耕三郎さんら3名による、懐かしい水見名所を盛り込んだ相撲甚句が高吟され、会場に響きわたる拍子木の音とともに、全員の息の合った「ドスコイ〜ドスコイ〜」の掛け声もよろしく、一同大いに楽しみました。

引続いて船木さんのリードでビンゴゲームとなり、支部が用意した景品に加え多数の同窓生等からご寄付頂いた豪華景品が次々と獲得されていき、会場には笑顔が溢れ、又ハズレの方は大きな溜息となり、悲喜こもごもなるも大きく盛り上がりました。

その後、中浦悟先生のリードにより全員で校歌を斉唱し、最後は森谷会長と関校長先生による万歳三唱でのエール交換、再び相撲甚句、穴倉副会長(高12回生)の開会の言葉で散会となりました。

同窓会本部から頂いた蒲鉾、支部〔主催者〕が用意した水見うどん、その他会場の物産店で購入した水見の干物、お菓子、水見の絵葉書等、思い出の品々を手在家路につきました。来年もまた会員の皆様の協力で盛大な総会になる事を願って報告と致します。  
副会長 種谷 正(高校12回)

## 関西支部だより



関西支部会では、第21回総会・懇親会を、大阪市阿倍野区の天王寺都ホテルで4月10日開催しました。

関寛水見高校校長、稲積佐一同窓会長ら約50人が出席。多胡会長が「20歳を迎えた当会も、高齢化と経済環境、更に関西へ就職する卒業生の減少で自然消滅の危機にあるが、会員一人一人の創意工夫でこの伝統ある会を長く持続させ、80周年を迎える母校を微力ながらもサポートしていきたい」と挨拶しました。

プロの弦楽四重奏団による、モーツァルトの「ディヴェルティメント」、滝廉太郎の「花」などの感動の名演奏が20周年記念総会に花を添えてくれました。

懇親会では、水見出身の歌手平あつおさんが駆けつけ、持ち歌「人生勝負」、「二人三脚」などを披露されました。会員による話やカラオケ、校歌の大合唱もあり楽しい集いとなりました。最後に高戸幹事長の閉会の辞と三本締めでお開きとなりました。

関西支部会では、総会とは別にグルメの会と云う会員の集いがあります。今年は6月5日、京都市・三条河原町の「スジャータ」で本場のインド料理を楽しみました。安井隆同師(高校22回卒・茨木市乗雲寺住職)がインドに修業中に知り合ったインドの方が京都に店を開かれたもので、本格的インド料理をいただきながら、楽しい語らいの時間を持ちました。

関西支部会会長 多胡 冽(高校7回)

## 先輩だより

### 西山 清氏(高校三十回卒)

本校商業科卒業生で、千葉県在住の西山清氏が、母校水見西部中学校で10月31日、講演を行った。全校生徒135人に語った内容をまとめてみた。

得意なことを見つけ、夢に向かって努力することの大切さを強調し、自分を強くするためにやってきた三本について述べた。最初に「自分の得意なこと、一番好きなことを見つけてよう」と話した。次に「相手の立場になって考える思いやりの心を持つ」と述べ、「人間は一人では生きていけない。チームワークが大切で、信頼できる仲間をたくさんつくってほしい」と呼びかけた。

最後に、夢を持つことの大切さを指摘。「継続は力なり」という言葉があるが、夢、目標に向かって継続することが力になる」と語り「人生には必ず試練がある。どんな壁にぶつかっても、絶対にあきらめず、壁を突き破ってほしい」と熱く語った。

西山氏は西部中でハンドボールを始め、水見高、筑波大を経て日新製鋼に入社。1981年ロサンゼルス・88年ソウル両オリンピックのハンドボール日本代表選手として活躍した。

## 麗峰グリーン会

水見高校を卒業された皆様方におかれましてはさまざまな地域や場面で、ご活躍の事とお慶び申し上げます。

今年度は四代目会長・釣谷広巳のもと麗峰グリーン会ゴルフコンペを平成十七年四月二十九日(金)と八月十六日(火)の二回開催致しました。

ゴルフデンウイークとお盆の期間です。参加者は約五十人ほどです。県外でご活躍されている方も、この機会に里帰りして懐かしい顔を見たいという方も、この皆様に参加を心よりお待ちしております。

その他に「富山県高校OB対抗ゴルフ大会」の水見高校OBチームのお世話もさせていただきます。

今年の成績 四月二十九日(金)

優勝・室谷裕行 次勝・川上 修 三位・上野昭喜  
四位・山田 哲 五位・吉崎定夫

八月十六日(火)  
優勝・上野昭喜 次勝・小川俊彦 三位・小橋八郎  
四位・嘉山正之 五位・山本清志

明細につきましてはホームページをご覧ください。  
<http://www.e-himi.com/green/>  
今後の皆様のご活躍をご祈念申し上げます、ご案内とさせていただきます。  
佐伯 鉄夫

# 母校ニュース

## 海外遠征に参加して

寺垣 慎太郎



本人は左から2番目  
 練習にはまだまだ  
 厳しさが足りないと感じました。

私は一週間前から体を調整し、調子も良く、自転車もすっかり整備していたので、もしかしたら結構良い順位で日本に帰って来られるかもしれないと思っていました。イタリアに到着すると、すぐに日本とは違う風景、気温の高さに驚き、また食べ物がか心配でしたが、パスタは大変美味しく、体調を壊すことなく安心しました。

試合当日、私の体調は絶好調で、トスカーナの茶色のレンガ作りの町並みを走り出すと、気分は最高でした。一日目は百六十キロを走ります。途中二十キロ地点で前の選手の落車に巻き込まれ、落車してしまいました。その後、二度のアクシデントに合い、私はたった五十キロでリタイアせざるを得なくなりました。自分で自分が悔しく、涙が止まりませんでした。

そして翌日から、同じチームのサポーターとして、自転車の掃除や選手に水を渡すなどしました。いつも自分がそうしてもらっていることに気が付き、ありがたいと思いました。

世界各地から集まった選手達とは、同じホテルだったので、食事の時にお互い写真を撮りあったりしました。私は英語が得意ではなかったのですが、ジェスチャーや片言の英語で通じたので、とても嬉しかったです。

今後はこの経験を活かし、世界に通じる実力を付けられるように努力していきたいと思います。

本人は左はし  
 ケ国が参加し、そのうち二ヶ国が、来年に行われる第1回世界ユース選手権の出場権を獲得できるというものでした。

大会前の合宿練習は、たった二回しかなく、その中でチーム作りはとて大変なものであり、緊張感を持ちながらの高いレベルの練習は、私にとっても意義があり、多くのことを学びました。

大会では、練習で学んだことをすべて発揮できるよう、みんなで懸命に戦いました。

今大会は第一回ということもあり、どうしても出場権を獲得し、そして優勝して、日本の名を記録に残そうとみんなで誓いました。初戦が始まり、私たちは日本は順調に勝ち星を重ね、三勝し、世界大会への出場権を獲得しました。そして最終戦、日本のライバル韓国と優勝をかけた戦いが始まりました。やはり、韓国の選手は力があり、スピードもとても速く、まだ力の差があるなと感じました。結果は、韓国を倒すことができず、二位でした。

出場権は獲得したものの、優勝できなかったという悔しい思いが残りました。この悔しさを胸にもっと力をつけ、また韓国にチャレンジし、アジアで一位になれるように頑張っていきたいと思えます。世界の舞台に立てたことは、私にとって貴重な経験であり、とても楽しい思い出になりました。

## 日本ハンドボールU18代表

石野 実加子



私は6月26日、7月2日にタイ・バンコクで行われた、女子アジアユース選手権大会に出場しました。ユースとは、18歳以下の全国から選ばれた16名で構成されている日本代表チームのことです。このアジア大会は、タイ・韓国・インド・日本の五ヶ国が参加し、そのうち二ヶ国が、来年に行われる第1回世界ユース選手権の出場権を獲得できるというものでした。

大会前の合宿練習は、たった二回しかなく、その中でチーム作りはとて大変なものであり、緊張感を持ちながらの高いレベルの練習は、私にとっても意義があり、多くのことを学びました。

大会では、練習で学んだことをすべて発揮できるよう、みんなで懸命に戦いました。

今大会は第一回ということもあり、どうしても出場権を獲得し、そして優勝して、日本の名を記録に残そうとみんなで誓いました。初戦が始まり、私たちは日本は順調に勝ち星を重ね、三勝し、世界大会への出場権を獲得しました。そして最終戦、日本のライバル韓国と優勝をかけた戦いが始まりました。やはり、韓国の選手は力があり、スピードもとても速く、まだ力の差があるなと感じました。結果は、韓国を倒すことができず、二位でした。

出場権は獲得したものの、優勝できなかったという悔しい思いが残りました。この悔しさを胸にもっと力をつけ、また韓国にチャレンジし、アジアで一位になれるように頑張っていきたいと思えます。世界の舞台に立てたことは、私にとって貴重な経験であり、とても楽しい思い出になりました。

本人は左はし  
 ケ国が参加し、そのうち二ヶ国が、来年に行われる第1回世界ユース選手権の出場権を獲得できるというものでした。

大会前の合宿練習は、たった二回しかなく、その中でチーム作りはとて大変なものであり、緊張感を持ちながらの高いレベルの練習は、私にとっても意義があり、多くのことを学びました。

大会では、練習で学んだことをすべて発揮できるよう、みんなで懸命に戦いました。

今大会は第一回ということもあり、どうしても出場権を獲得し、そして優勝して、日本の名を記録に残そうとみんなで誓いました。初戦が始まり、私たちは日本は順調に勝ち星を重ね、三勝し、世界大会への出場権を獲得しました。そして最終戦、日本のライバル韓国と優勝をかけた戦いが始まりました。やはり、韓国の選手は力があり、スピードもとても速く、まだ力の差があるなと感じました。結果は、韓国を倒すことができず、二位でした。

出場権は獲得したものの、優勝できなかったという悔しい思いが残りました。この悔しさを胸にもっと力をつけ、また韓国にチャレンジし、アジアで一位になれるように頑張っていきたいと思えます。世界の舞台に立てたことは、私にとって貴重な経験であり、とても楽しい思い出になりました。

### 平成17年度 転入出職員

職別	転入	転出
校長	教長 寺垣 慎太郎 (本校)	教長 寺垣 慎太郎 (本校)
副校長	副校長 寺垣 慎太郎 (本校)	副校長 寺垣 慎太郎 (本校)
主任	主任 寺垣 慎太郎 (本校)	主任 寺垣 慎太郎 (本校)
職員	職員 寺垣 慎太郎 (本校)	職員 寺垣 慎太郎 (本校)
事務	事務 寺垣 慎太郎 (本校)	事務 寺垣 慎太郎 (本校)
学生	学生 寺垣 慎太郎 (本校)	学生 寺垣 慎太郎 (本校)

### 平成17年度部活動成績 (北信越大会以上)

大会	種目	選手	成績	
《運動部》	全国大会	北信越高等学校自転車競技大会	寺垣慎太郎 (第3位)	
		個人ロードレース	寺垣慎太郎 (第7位)	
		学校対抗の部	寺垣慎太郎 (第3位)	
	北信越大会	女子ハンドボール大会	石野実加子 (第2位)	
		女子ハンドボール大会	石野実加子 (第2位)	
		女子ハンドボール大会	石野実加子 (第2位)	
		女子ハンドボール大会	石野実加子 (第2位)	
		女子ハンドボール大会	石野実加子 (第2位)	
		女子ハンドボール大会	石野実加子 (第2位)	
		女子ハンドボール大会	石野実加子 (第2位)	
	《文化部》	第46回北陸吹奏楽コンクール	高等音楽科A部員	賞状
		第4回岐阜女子大学全属音楽展	学生賞	賞状
		第1回アジアカタラニア大会	石野実加子	第2位
		第1回アジアカタラニア大会	石野実加子	第2位
		第1回アジアカタラニア大会	石野実加子	第2位